



ばるっこ

学校教育目標

～豊かな感性、確かな学力を身に付け、
たくましく未来を拓く子どもの育成～

中原小 めざす3つの「あ」

あいさつ **あ**りがとう **あ**きらめない

北九州市立中原小学校 校長 針尾 泰久

水泳学習スタート！（プール開き）



6月18日（火）、5、6校時に、6年生によるプール開きが行われました。プール開きでは、児童代表が水泳学習に臨むにあたっての目標について述べました。また校長からは、3つの「あ」（あんしんしない・あわてない・あなどらない）について話をしました。そして、体育主任より水泳で命の危険性がいかにあるか、どれだけ過去に悲しい事故が起こったのかなど水泳学習の安全面や心構えに対する指導を行いました。その後、子どもたちは、緊張感をもちつつ水泳学習に取り組んでいました。

水泳学習は、命にかかわる学習です。安全面への意識を全職員忘れず、取り組んで参ります。

保護者様へのお願い

水泳学習の始まりに当たって、保護者の皆様にお問い合わせの学校より配布しています。子どもたちにとって、楽しい学習ですが、同時に危険を伴うものでもあります。学校では、万が一の事態に備えて、事前に全職員で救命救急講習を行っています。ご家庭におかれましては、お子様の朝の健康状態（食欲がない、元気がない、目がかゆい、熱っぽい等）をしっかりと把握してください。そのうえで当日の学習への参加についてご判断ください。子どもの話だけでの判断はお控えください。

命をまもる行動を！交通事故に気を付けて！

新年度に入って、北九州市内では小学生が交通事故に遭う事案が多発しています。その中には、複数個所の骨折や足の指の神経が切れるなどの重大な事故も起こっています。特に、小学1・2年生は歩行中に交通事故に遭いやすい「魔の7歳」と呼ばれています。これは死者・負傷者を年齢別にみたときに、7歳が突出していることから名付けられたもので、重傷者は6年生の3倍以上。交通事故の発生が6月に多い原因としては、「①学校や通学に子どもが慣れてくる時期である」「②梅雨時期になり、視界が悪くなる」「③身長が低く、運転手の視界に入りにくい」などが挙げられています。交通ルールを熟知しておらず、一人単独での行動に不慣れな子どもが、うっかり危険な行動を取ってしまうこともあります。また子どもの視野は、大人に比べて狭いことも、交通事故の被害に遭いやすい原因の一つと言われています。学校では、命の大切さを伝えるとともに、子どもたちに対して、交通ルールを守ることや急な飛び出しをしないことなど、注意喚起を続けています。ご家庭でも、お子様へのお声掛けをよろしくお願いします。